

# 大学院教育学研究科

## 教育目標

教育実践に関わる学術諸分野と一般社会における専門的職業人の養成を目指しています。

## 学位授与方針（ディプロマポリシー）

教育学研究科では、「教育実践に関わる学術諸分野と教育科学の統合的・学際的な教育・研究を行うことにより、現代の複雑化する教育 諸問題に対処できる高度な識見と実践力を有し、併せて地域文化の向上に寄与できる専門的能力を備えた専門職の養成」を、研究科の教育目的としている。

このような教育目的を達成するために、教育支援科学専攻においては、専攻共通科目、専攻専門科目、課題研究を、教科教育専攻においては、専攻共通科目、コース共通科目、コース専門科目、課題研究を履修し、基準となる単位数を修得した上で、学位論文を作成提出することを、修士（教育学）授与の必要要件としている。

また教育実践創成専攻においては、共通基礎科目、独自共通科目、発展科目、課題研究、実習を履修し、基準となる単位数を修得することを、教職修士（専門職）授与の必要要件としている。

## 教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

### 修士課程（教育支援科学専攻・教科教育専攻）

教育支援科学専攻は、一人ひとりの子どもたちの教育を受ける権利を保障しその成長発達ニーズに応え支援する教育実践・教育制度を 探求し新たな教育実践を構想する力の基盤となる、教育支援科学的調査研究法とそれを駆使した知見の開発の進展と教育を目的としている。また、教科教育専攻 は、教科の教育内容に関する専門的知識を深め教材とそのシーケンスおよび授業法について開発する力を育成するために、文化特性に応じて、各文化領域(言語文化、社会文化、科学文化、芸術文化、身体文化)における教育内容の核を構成する本質的知見および教材研究・授業法に関する基礎研究の進展とその教育を 目的としている。

この目的を達成するために、教育支援科学・授業研究等の最新の知見を内容とする「人間形成の現代的課題」 2単位を課程共通必修科目 として配置するとともに、各専攻・コース毎の共通必修科目と

して、教育支援科学専攻においては教育学・教育心理学・特別支援教育学の分野を総合した「教育 支援科学研究 I・II」 4 単位、教科教育専攻においては各コース(文化領域)での文化と教育に関する概論的科目 4 単位を置く。入学定員 28 人という少人数 の利点を最大限に生かした手厚い指導を旨として、知見を深める専門諸科目を配置する。

## 教職大学院の課程（ 教育実践創成専攻 ）

---

教育実践創成専攻(教職大学院の課程)は、地域の学校の課題に即した学校改善・授業改善の構想力・実践力を育成するとともに、教育に関する高度の実践的専門性と教育実践を具体的な場でリードする力の育成を目的としている。

この目的を達成するために、入学定員 14 人という少人数の利点を最大限に生かした、手厚い指導体制とカリキュラムを用意する。その 特色は、

1. 高度の実践的視野を拓くために必須の知見を事例中心で身につける授業科目を基本的に必修科目として配置し複数教員による指導で実施すること。
2. 地域の学校の課題に即して設定される各自の実習課題を「学校・授業改善プロジェクト」(実習)と位置づけ現職教員大学院生・学部卒大学院生および実務家教員・研究者教員が課題を共有し相互に検討しつつ一体となって取り組むことである。そのために、山梨県教育委員会をはじめ各市・町教育委員会、および山梨県内の連携協力校との連携を強化する。

## 入学者選抜方針（アドミッションポリシー）

---

教育問題に強い関心を持ち、実践的な対応力と専門的な力量を身に付けたいという意思を持ち、地域・文化の向上に寄与したいという意欲のある人を求めます。

### ● 教育支援科学専攻

学校教育に関わる諸問題について理論的知識と実践的な基礎を持ち、生涯発達・生涯学習を視野に入れながら、教育の本質と本来的課題を探究したい人、及び障 害児教育を取り巻く社会的、現在のニーズに強い関心を持ち、課題解決のための具体的方策について理論的知見と基礎的技術を身につけたい人を求めます。

### ● 教科教育専攻

教科教育及び関連する各専門分野について理論的知識と実践的な基礎を持ち、教育の本質と各教科教育学の将来的課題を探究したい人を求めます。

- **教育実践創成専攻（教職大学院）**

地域や学校において指導的・中核的な役割を果たし得るに不可欠な確かな教育指導理論と高度で優れた実践力・応用力を身につけたいという現職教員、及び実践的な指導力・展開力を備える新しい学校づくりの有力な担い手として自ら積極的に取組み、将来的にリーダーとしての役割を果たそうとする意欲のある人を求めます。